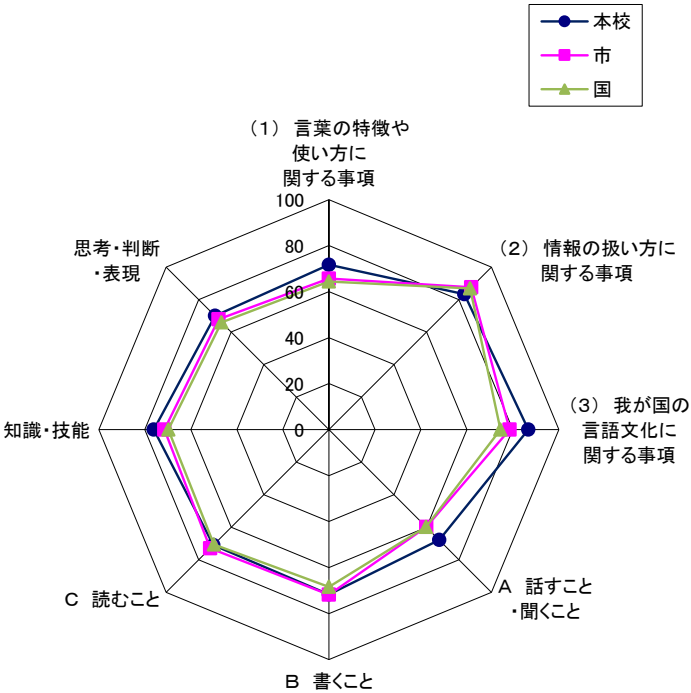


宇都宮市立東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	71.7	65.7	64.4
	(2) 情報の扱い方にに関する事項	83.3	87.6	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	86.7	78.6	74.6
	A 話すこと・聞くこと	67.8	59.9	59.8
	B 書くこと	71.7	71.8	68.4
	C 読むこと	71.1	72.9	70.7
観点	知識・技能	76.1	71.5	69.8
	思考・判断・表現	70.0	67.8	66.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、71.7%であり、全国の平均を7.3ポイント上回っている。 ○漢字を文の中で正しく使えるかどうかをみる設問において、2問とも10ポイント以上上回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・今後も漢字学習の充実を図っていく。一行練習などの繰り返し練習だけでなく、覚えていない漢字を洗い出し、その漢字を練習したり、様々な熟語を練習して、文章の中で適切に使えるような力を養っていったりするなど、漢字学習の方法も含めて児童に指導していく。
(2) 情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、83.3%であり、全国の平均を3.6ポイント下回っている。 ○情報と情報との関係付けの仕方を理解使うことができるかをみる設問において、全国の平均を3.6ポイント上回っている。	・資料の中から情報を正しく読み取るために、結果や原因に着目することを指導していく。 ・長い文章や資料に対して、キーワードとなる言葉を囲んだり、線で繋いだりするなど、情報を整理する方法を指導していく。タブレット端末を使った指導をするなど、活用できるものを模索していく。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、86.7%であり、全国の平均を12.1ポイント上回っている。 ○読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる設問において、12.1ポイント上回っている。	・今後も日常的に読書に親しんでいけるように、学習の時間に図書室を利用する機会を作ったり、学校全体で取り組む読書週間に合わせて、目的に合わせた読書や調べ学習を推奨したりするなど、児童の読書活動の充実を図る。また、本校の特色でもある百人一首等を通して、古典のよさに親しむ機会を作っていく。
A 話すこと・聞くこと	平均正答率は、67.8%であり、全国の平均を8.0ポイント上回っている。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決めたり、集めた材料を分類・関係付けたりして、伝え合う内容を検討する設問においては、全国平均を6.0ポイント以上上回っている。	・今後も資料を活用しつつ、自分の考えが聞き手に伝わるよう表現を工夫したりできるよう、日頃からスピーチなど話す機会を多く作っていく。また、テレビなど視聴する際、話し方など少し意識して聞くよう声を掛けていく。
B 書くこと	平均正答率は、71.7%であり、全国の平均を3.3ポイント上回っている。 ○目的や意図に応じて、材料を分類したり関係付けたりして、内容を検討する設問においては、全国平均を6.4ポイント上回っている。	・今後も児童が文章を書くことに抵抗を感じないように、普段から自分の考えを書く活動を取り入れていく。また、単に生活作文や行事作文を書かせるのではなく、目的や相手意識をもたせて書いたり、行数や段落の数を指定して書いたりするなど、様々な方法で書かせ、書く力の向上に取り組んでいく。
C 読むこと	平均正答率は、71.1%であり、全国の平均とほぼ同値であった。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える設問や全体像を想像したり、表現の効果を考えたりする設問においては、全国平均を大きく上回った。	・物語分の学習では、人物像を想像する活動を多く取り入れる。そのため、文章を読み込ませたり、自分の考えなど書かせたりする機会を増やす。それを基に人物像に結びつけられるような指導をしていく。